

奈良県がん診療連携協議会

分科会報告

・放射線療法分科会	・・・・・・・・・・	p 1 ～ p 3
・化学療法分科会	・・・・・・・・・・	p 4
・緩和ケア分科会	・・・・・・・・・・	p 5 ～ p 6
・相談支援分科会	・・・・・・・・・・	p 7 ～ p 8
・がん登録分科会	・・・・・・・・・・	p 9
・地域連携分科会	・・・・・・・・・・	p 1 0

令和元年度 奈良県がん診療連携拠点協議会 分科会報告

放射線療法分科会

分科会開催日	第1回 令和元年 7月18日（メール会議）
令和元年度 実績・予定	分科会メール会議の開催： 7月18日にメール会議を開催し、県内の放射線治療体制の確認及び情報共有を行った。今後も、定期的にメール会議を開催し、県内の放射線治療実施施設間の協力関係の強化をさらにすすめて行く予定である。 <u>令和元年度第1回放射線療法分科会メール会議</u> 奈良県がん診療連携協議会 放射線療法分科会 委員の皆様 県内の放射線治療ではいろいろとお世話になります。 令和元年になり、スタッフの異動、機器の導入、稼働等をされた施設もあり、ますます充実した放射線治療に取り組まれていることと存じます。 平成30年4月の診療報酬改定ではIMRTの要件が緩和されず、一部の施設では厳しい状況が続いていますが、来年、令和2年4月の改定でどうなるか注目されています。（医学物理士等の条件付きで医師一人でも実施が認められるか可能性もありますがまだわかりません。）なお、国指定のがん診療連携拠点病院（都道府県、地域）では、指定要件において、放射線治療医が「原則常勤」から「常勤」（必須；ただし、猶予期間あり）に変更となっていますが、こちらについては既に（県内の施設では）充足されているようです。 さて昨年のメール会議から、可能な範囲で放射線治療の体制についてエクセル表にまとめさせていただいています。今回も表を添付させていただきますので、できればご記入いただき、全員に返信でお知らせいただけると幸いです。（万一、ファイルを開けない場合には、前回、平成31年2月28日の第3回メール会議以降について、治療機器の導入、稼働、治療の開始、スタッフの異動、その他の大きな変化についてメール本文でお知らせいただければと存じます。） なお、大きな変更等があった施設におかれましては、エクセル表の他にメール文でも、全員に返信でお知らせいただければ幸いです。 担当者が交代された施設におきましてはお手数ですが、転送をお願いいたします。また、個人情報、その他の理由で、全員に返信が不可の場合には、事務局担当、奈良医大の長谷川のみにご返信下さい。

概要総括	***** 奈良県立医科大学附属病院 放射線治療科： 治療については、2019 年 10 月から前立腺癌の高線量率小線源治療を開始し、順調に継続しています。スタッフについては、10 月以降、助教 1 名空席が続いていますが、4 月から専攻医 2 名（後期研修医）が増えましたので、常勤放射線治療医は一応 8 名（専従医師は 6 名、放射線治療専門医は 5 名）です。 リニアック 3 台（IMRT 比率約 50％）、ヨードシード（前立腺）、Ir192HDR（マイクロセレクトロン：子宮、前立腺）、核医学治療（RI 内用療法：I-131 ヨー化ナトリウム、Ra-223 塩化ラジウム、Y-90 抗 CD20 抗体）等の実施状況には特に変化ありませんが、外照射の患者数にかなりの変動（増減）があります。（なお、Sr-89 塩化ストロンチウムが使用できなくなってから半年になります。） ***** 各施設の概要は別表（2019 年 7 月 15 日現在概要）のとおりです。 現在、県内の 8 つの施設で放射線治療が実施され、常勤の放射線治療医 24 名、放射線治療専門医 15 名、医学物理士 18 名、その他多数のスタッフが従事しています。8 施設中 5 施設では強度変調放射線治療（IMRT）等の高精度放射線治療が実施されており、県内の集約化と均てん化を考慮した施設間の連携が強化されています。 ＜分科会委員＞ <table> <tr> <td>奈良県立医科大学附属病院 放射線治療科</td><td>長谷川正俊</td></tr> <tr> <td>奈良県総合医療センター 放射線科</td><td>堀川典子</td></tr> <tr> <td>天理よろづ相談所病院 放射線治療科</td><td>高山賢二</td></tr> <tr> <td>近畿大学奈良病院 放射線科</td><td>岡嶋 馨</td></tr> <tr> <td>済生会中和病院 放射線科</td><td>浅川勇雄（非常勤）</td></tr> <tr> <td>高井病院 放射線科、脳神経外科</td><td>井上和也、長友康</td></tr> <tr> <td>高田市立病院 放射線治療科</td><td>横川正樹</td></tr> <tr> <td>市立奈良病院 放射線科</td><td>橋本泰年</td></tr> </table> 敬称略	奈良県立医科大学附属病院 放射線治療科	長谷川正俊	奈良県総合医療センター 放射線科	堀川典子	天理よろづ相談所病院 放射線治療科	高山賢二	近畿大学奈良病院 放射線科	岡嶋 馨	済生会中和病院 放射線科	浅川勇雄（非常勤）	高井病院 放射線科、脳神経外科	井上和也、長友康	高田市立病院 放射線治療科	横川正樹	市立奈良病院 放射線科	橋本泰年
奈良県立医科大学附属病院 放射線治療科	長谷川正俊																
奈良県総合医療センター 放射線科	堀川典子																
天理よろづ相談所病院 放射線治療科	高山賢二																
近畿大学奈良病院 放射線科	岡嶋 馨																
済生会中和病院 放射線科	浅川勇雄（非常勤）																
高井病院 放射線科、脳神経外科	井上和也、長友康																
高田市立病院 放射線治療科	横川正樹																
市立奈良病院 放射線科	橋本泰年																

2019年7月15日現在概要

病院名	奈良県立医科大学 附属病院	奈良県総合医療 センター	天理よろづ相談 所病院	近畿大学奈良 病院	市立奈良病院	高田市立病院	済生会中和病院	高井病院
診療科名	放射線治療科	放射線科	放射線治療科	放射線科	放射線科	放射線治療科	放射線科	放射線科 脳神経外科
部門責任者または 連絡担当の分科会委員	長谷川正俊	堀川典子	高山賢二	岡嶋 馨	橋本泰年	横川正樹	浅川勇雄(非)	井上和也 長友 康
がん拠点病院	都道府県がん診 療連携拠点病院	地域がん診療連 携拠点病院	地域がん診療連 携拠点病院	地域がん診療連 携拠点病院	地域がん診療連 携拠点病院	奈良県がん診療 連携支援病院	奈良県がん診療 連携支援病院	
リニアック(台数)	3	2	2	1	1	1	1	1
ガンマナイフ(台数)	0	0	0	0	0	0	0	1
陽子線治療装置(台数)	0	0	0	0	0	0	0	1
高線量率小線源治療装置(Ir等)(台)	1	0	1	0	0	0	0	0
前立腺癌ヨード永久刺入装置(台数)	1	0	0	0	0	0	0	0
他(台数)	1	0	0	0	0	0	0	0
常勤放射線治療医数(総数)	8	1	3	5	1	2	0	4
常勤放射線治療専門医数	5	1	2	1	1	2	0	3
専従放射線治療医数(治療5割以上)	6	1	1	4	1	2	0	3
専任放射線治療医数(治療5割以上8割未満)	1	0	0	0	0	0	0	0
兼任放射線治療医数(5割未満)	1	0	0	0	0	0	0	1
非常勤放射線治療医師数	2	1	0	1	1	0	2	2
常勤医学物理士数(治療関連総数)	7	0	1	2	0	3	0	5
専従(物理5割以上)	1	0	0	1	0	1	0	1
専任(物理5割以上8割未満)	0	0	0	0	0	0	0	0
兼任(物理5割未満)	0	0	0	0	0	0	0	0
技師として勤務	6	0	1	1	0	2	0	4
放射線治療担当技師数(計)	13	6	7	6	5	6	3	8
放射線治療担当技師数(実働数)	8	6	5.5	3	3	3	2	7
専従(治療5割以上)	5	5	4	1	2	2	1	6
専任(治療5割以上8割未満)	7	0	0	2	0	1	0	0
兼任(5割未満)	1	1	3	3	3	3	2	2
放射線治療品質管理士数	2	2	1	2	2	4	0	2
放射線治療担当看護師(実働数)	6	2	1	3	3	2	2	2
強度変調放射線治療の実施(○または 実施要件充足(○または×) 固定多門IMRT(○または×) VMAT (○または×) 脳 (○または×) 頭頸部 (○または×) 前立腺 (○または×) 食道 (○または×) 肺 (○または×) 肝臓 (○または×) 直腸 (○または×) 骨 (○または×) その他 (○または×)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	× × × × × × × × × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	× × × × × × × × × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	× × × × × × × × × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
定位放射線照射の実施(○または 脳 (○または×) 肺 (○または×) 肝臓 (○または×) その他 (○または×)	○ ○ ○ ○ ○	○ × × × ×	○ ○ ○ × ×	○ ○ ○ ○ ○	× × × × ×	○ ○ ○ × ×	× × × × ×	○ ○ ○ ○ ○
全身照射 (○または×)	○	×	○	○	×	×	×	×
術中照射 (○または×)	○	×	×	○	×	×	×	×
その他の特殊治療(外部照射)	○	×		×	×	×	×	
ゾーフィゴ(骨転移のある前立腺癌)	○	×	△	○	○	×	×	○
ゼバリン(リンパ腫)	○	×	△	○	×	×	×	×
ヨード(甲状腺癌)	○	×	△	○	×	×	×	×

令和元年度 実績・予定	1. 多地点 web カンファレンスの実施 ○がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院及び奈良県がん診療連携支援病院間で、テレビ会議システムを用いた web カンファレンスを定期的を実施 ・第1回 5月16日(木) 担 当：南奈良総合医療センター 吉村 淳先生 テーマ：「オキサリプラチンによる Grade4 アナフィラキシーの経験」 ・第2回 7月11日(木) 担 当：奈良県立医科大学腫瘍センター 神野、吉井 テーマ：「ゲノム診療の実際 NCC-Oncopanel の一例」 ・第3回 9月12日(木)〔予定〕 担 当：奈良県総合医療センター 小林 真也先生 2. 化学療法医療チーム研修会の開催 ○がん化学療法医療チーム研修会の開催 日 時：2019年11月10日(日) 9:15～18:00(予定) 場 所：ミグランス橿原市役所分庁舎4階 コンベンションルーム 対 象：奈良県内のがん化学療法チーム 目 的：施設のがん医療に貢献できる多職種連携チームを育成する 内 容：施設の化学療法に関する問題点を抽出し、それに対し具体的な形で効果が見られる解決策を見いだし実践する ※2020年春、当研修会の参加者を対象に「フォローアップ研修会」を開催予定
その他	分科会の委員を中心に行っている自主研究グループ「奈良がん医療研究会(まほろば塾)」を年2回、継続して開催する予定である。(本年度1回目は9月21日予定)

令和元年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

緩和ケア分科会

令和元年度 実績・予定	① まほろば PEACE 緩和ケア研修会 計 9 回 (県内拠点病院、地域がん診療病院、支援病院で開催) ・ 奈良県立医科大学附属病院 6 月 3 0 日 (日) ・ 市立奈良病院 7 月 2 1 日 (日) ・ 近畿大学奈良病院 8 月 4 日 (日) ・ 済生会中和病院 8 月 2 5 日 (日) ・ 天理よろづ相談所病院 9 月 1 日 (日) ・ 南奈良総合医療センター 9 月 2 9 日 (日) ・ 奈良県総合医療センター 1 0 月 6 日 (日) ・ 国保中央病院 1 2 月 1 日 (日) ・ 奈良県立医科大学附属病院 2 月 2 日 (日) ② 看護師に対する研修会 (ELNEC-J) の開催 ・ 奈良県立医科大学附属病院 1 月 2 5 日 (土) 1 月 2 6 日 (日) ③ がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会 (病診連携) の開催 ④ 緩和ケア普及啓発 (県民公開講座等) の実施 ⑤ 緩和ケアチーム研修会の開催 [奈良医大] ※③～⑤の取組は裏面参照。
------------------------	---

令和元年度 奈良県がん診療連携協議会（緩和ケア分科会） 取組報告

◆在宅緩和ケア地域連携事業「がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会」【原則必須】

医療機関名	内容
奈良医大	R1. 12. 1（日）「在宅緩和ケア地域連携研修会（ケアカフェちゅうわ）」 在宅療養支援診療所の医師や看護師等に対し、緩和ケアに関する知識と技術の研修を行う。
奈総医セ	地域の医療従事者や福祉職らと共がん患者の意志決定や地域連携の問題を検討する症例検討会を開催予定（R1. 7. 11、R1. 9. 12、R1. 11. 7は症例検討会、R2. 3. 12はミニ講義+症例検討会の予定）
天理よろづ	「在宅緩和ケア地域連携研修会」を開催予定（日程未定） 緩和ケアチームと在宅緩和ケアを専門とする医師等による、緩和ケア及び病診連携に関する研修会を開催する。
近大奈良	二次医療圏の医療従事者を対象とした緩和ケアに関する研修会「生駒緩和医療研究会」を3回開催予定 ①R1. 8. 1（木）「こどもの緩和ケアを実践する際に大切にしたいこと」開催 参加者：60名 ②R1. 11. 14（木）「認知機能障害をもつがん患者の緩和ケア」開催予定 ③R2. 2月 開催予定。 テーマ「検討中」
市立奈良	当院緩和ケアチームと地域の在宅緩和ケアを専門とする医師、訪問看護ステーション、福祉関係者等による緩和ケアに関するスムーズな連携と疼痛管理を中心とした研修会の実施（R2. 2月ごろ予定）
南奈良	R1. 6. 13（木）「第10回南和地域在宅医療研修会（テーマ：地域で取り組む緩和ケア）」 地域の医師、看護師等を対象に開催済（参加者98名）

◆緩和ケアの情報提供・普及啓発（県民公開講座等）【必須要件】

指針Ⅱ4（3）③/Ⅶ4（3）③：地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めること。

医療機関名	事業内容
奈良医大	R2. 3. 1（日）県民公開講座「病気とうまく付き合うために」 （会場：橿原市役所分庁舎ミグランス） 一般の方を対象に、在宅緩和ケアや看取りをテーマとした普及啓発及び情報提供を行う。
奈総医セ	R2. 2月 県民公開講座を開催予定 一般の方を対象とした、治療期からの緩和ケア、がん治療方法等の講演を行い、がんに対する普及啓発及び情報提供を行う。
天理よろづ	R1. 6. 20「乳がんの治療（緩和ケアを含む）～患者さんにできること～」 一般市民対象に公開講座を開催（参加者49名）
近大奈良	市民公開講座を年1回開催予定 時期：令和1年10月 テーマ「検討中」
市立奈良	R1. 11. 2（土）10：00～11：30 がん診療拠点病院公開講座「がん患者・ご家族が安心して生活できるためのお金の話」 講師：辻本由香、会場：市立奈良病院で開催予定。
南奈良	地域の高等学校の生徒に向けた講座を開催予定 時期：12月 テーマ：検討中

◆当該都道府県においてがん診療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・看護師等に対する研修の実施について（必須要件）【奈良医大のみ】

医療機関名	事業内容
奈良医大	R1. 9. 22（日）「奈良県緩和ケアチーム研修会」 「緩和ケアチームが取り組むアドバンス・ケア・プランニング」をテーマに、県内の緩和ケアチームに対する研修会を開催予定。

令和元年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

相談支援分科会

分科会開催日	【開催済】 令和元年6月6日（木） ※奈良県疾病対策課主催「患者サロン運営者会議」と同時開催 議題・事業計画 PDCA に関すること ・利用状況調査結果報告 ・相談員研修会開催について等 【開催予定】 令和元年9月5日（木）／12月5日（木）／令和2年3月5日（木）
令和元年度 実績・予定	<u>1. 治療と仕事両立支援体制の整備と充実</u> ①社会保険労務士による就労相談の実施〔各医療機関で実施〕 ②産業保険総合支援センター（両立支援促進員）との連携による支援 ③長期療養者就職支援事業（がん・肝炎・糖尿病の長期療養者） ハローワーク（就職ナビゲーター）による就職支援〔奈良医大のみ実施〕 実施日：毎月第1, 2, 5 水曜日および第3, 4 火曜日（R1. 7月～） ④療養・就労両立支援指導料の算定に伴う体制の整備 両立支援ナビゲーターの配置（研修参加促進）、必要書類の検討 <u>2. 相談の質の保証のための相談員のスキルアップ</u> ①地域がん相談支援フォーラム近畿〔主催：兵庫県〕に参加 2019年10月6日（日）神戸市立医療センター中央市民病院 テーマ：「高齢がん患者の支援を考える」 ②がん相談員研修会の開催 2020年2月29日（土） テーマ：「相談対応の質保証を学ぶ」 講 師：国立がん研究センターがん対策情報センターより派遣 <u>3. 患者サロン運用充実・患者会や患者団体の活動の支援</u> ①リレーフォーライフ奈良への参加 @天理駅前広場コフフン 9月28日（土）～9月29日（日） ②患者団体が開催する交流会、講演会への参加 ③患者サロンの運用充実

	<u>4. AYA 世代・小児がん患者・家族支援体制の整備</u> ①サロン・交流会の実施〔各医療機関で実施〕 <u>5. 相談支援センターの院内職員への周知と相談機能の強化</u> ①院内職員から相談支援センターに紹介される体制の整備 ②患者からの相談に対し、適切に対応できるような、院内の関連部門・担当者と協働できる体制の整備
--	--

令和元年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

院内がん登録分科会

分科会開催日	<u>院内がん登録分科会</u> メールにて開催（予定） ・ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会報告 ・ がん登録研修会開催報告 ・ 情報提供等
令和元年度 実績・予定	<u>がん登録データの集計および分析</u> 各拠点病院のがん登録 2016 年データの収集・分析 （奈良医大） > 奈良県疾病対策課へデータ提供依頼予定 <u>院内がん登録分科会 がん登録研修会（年 2 回）</u> 【第 1 回】 日時：令和元年 10 月 27 日（日） 13：30～17：00（予定） 共催：奈良県がん対策推進協議会 がん登録部会 場所：奈良県立医科大学 基礎医学棟第 2 講義室 受講対象者：県内のがん登録担当者、診療所医師等 第 1 部：『全国がん登録情報の効果的な活用について』（仮） 講師：国立がん研究センター がん対策情報セン ター がん登録センター 全国がん登録室 室長 松田智大 氏 第 2 部：『乳がんについて』（仮） 講師：奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科 准教授 平尾 具子 氏 【第 2 回】 日時：令和 2 年 2 月ごろ（予定）

令和元年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

地域連携分科会

分科会開催日	第1回 2019年8月～9月で調整中
令和元年度 実績・予定	〈今年度予定〉 ○地域連携クリティカルパス（5大がん10種類）の運用の促進・評価・分析。 ○地域連携クリティカルパスのあり方について国の動向を把握する。 ○情報共有用紙の運用方法を確定させて活用していく。 ○地域の多職種カンファレンスの開催に向けて、運用について検討（地域連携会議）